



# みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

91号

2019 (平成31年)  
3月発行

広報とみや

## 富屋を通過していた人車鉄道に思いをはせて

2月24日(日)に、まちづくり連絡協議会文化活動部会主催による地域学(富屋学)講座が地区市民センターホールにおいて開催されました。今回の講座は、講師に国本地区ふるさと再発見の会代表の川村泰一先生をお招きして、「野州人車鉄道(富屋・新里線)の歴史と鹿沼一城山一国本を結んだもう一つの鉄道」と題してお話いただきました。先生は、人車鉄道で使われていた客車の模型や写真、地図等の資料を提示しながら、人車鉄道の営業概要、設立経過、課題と廃止の要因等について、具体的に説明してくださいました。

### 野州人車鉄道富屋線豆知識 <川村先生の資料・講話をもとに作成>

#### 1 営業開始 明治36年(1903)

※明治32年に戸祭から新里を結ぶ野州人車鉄道新里線が開通していた。その途中駅である仁良塚駅から、下徳次郎(池田製材所付近)まで延長されたのが富屋線である。

#### 3 営業内容 人力による人の運送等

#### 4 客車 定員6名 大きさ 長さ1.8m 幅1.1m 自重360kg

#### 5 トロッコ 長さ1.5m 幅0.9m 自重280kg 車夫2人が交代で押した。

#### 6 富屋線のその後 路線の延長やガソリンカーの導入により、材木町まで30分で行けるようになったが、自動車交通の増加による輸送量の減少で昭和7年に廃止となった。



参加された60名を超える皆さんは、富屋を通過していた人車鉄道を思い描きながら、熱心に耳を傾けていました。また、休憩時間になると、川村先生がお持ちくださった国本・富屋地区の昭和7年の地図、昭和40年代後半と50年代前半の航空写真の前に皆さん集まり、人車鉄道の軌道や道路網を確認し合っていました。参加者の皆さんの人車鉄道そして地域内の交通網の変遷への興味と関心がさらに高まった講座となりました。



### 折り紙

## 紙から生まれる新たな世界



私が折り紙を始めたのは、今から10年前です。主人に先立たれた私は、外に出かける気にもなれず、家でぼーっとしていました。でも、このままではだめだと思い、始めたのが折り紙なのです。それ以来、折り紙の本を見ながら毎日折っています。今では、鶴ならテレビを見ながらでも折ることができます。また、折った折り紙を組み合わせて作る人形や吊るしの飾り、鉢カバーなど立体的な作品にも取り組んでいます。作品が自分の思うように仕上がったときは達成感を感じます。

ご近所や知り合いの皆さんにでき上がった作品を差し上げたり、折り方を教えてあげたりして、皆さんの喜ぶ姿に出合えることも私の喜びとなっています。

(山王団地自治会 天海 和子)

## 富屋地区の現状と課題について話し合う まちづくり懇談会

1月20日(日)に、富屋地区まちづくり懇談会が、地域住民、各自治会及び各種団体の役員、関係機関の代表など約80名の方が参加して地区市民センターで開催されました。

会に先立ち、参加者全員で富屋地区まちづくりの5つの目標を唱和しました。会の冒頭の主催者挨拶では、まちづくり協議会の斎藤直偉会長が、懇談会の趣旨に触れるとともに、現在の富屋の大きな課題である少子高齢化に対処する取組を地域全体で協力して進めていきたいと話されました。

懇談会では、まちづくり事務局と5つの専門部会から本年度の活動報告と課題及び今後の目標の発表がありました。続いて、平成27年2月に制定された富屋地区地域ビジョンの説明が入江利長副会長からあり、それを受けて田中・門前・山王団地・大網町の4自治会長が、地域ビジョンに基づく活動の実施状況について報告しました。発表後に市の市民まちづくり部赤石澤副参事から、「今後も地域ビジョンのチェック機能を充実させてほしい。次の時代を担う人材育成にも努めてほしい。」と講評をいただきました。

なお発表の前に行われた、富屋小学校の児童（高橋真ノ介さん、福田紬己さん、藤田徠希さん）による情感豊かな「富屋の民話語り」に、会場から大きな拍手が送られました。



## 富屋に学ぶ子どもたち

○山王認定こども園

「自然ってすごい！」

園長 中里 光江

山王認定こども園では、身近にある物を保育活動に取り入れています。年長組では、毎年「たまねぎの皮」を使用して「草木染め」を行います。ご家庭から皮を寄付していただき、皮を集めて、大きな鍋で煮出します。子ども達はその間に、布に模様が出るよう、輪ゴムや洗濯バサミなどを使って自由に結んだり挟んだり、思い思いに取り組みます。鍋に色が出たら、布を鍋に入れ、グツグツ煮込んで約30分後…きれいな色に染まりました！自分たちで輪ゴムや洗濯バサミを取り外し、しっかりすすいで完成!!世界に一つだけの作品ができました。作品ができた時の子ども達の表情は、キラキラと輝いていました。身近な材料から、素敵なものができるということを、子ども達自身が体験し、自然のすごさを感じることができました。活動を通して子ども達が感じた気持ちのひとつひとつを大切に、これからも多くの体験を通して自然と触れ合っていきたいと思います。



## タコあげ大会

第52回富屋地区タコあげ大会が、1月14日(月)、ろまんちっく村にぎわい広場において開催されました。大会には、幼児から小学生、大人まで合わせて76名が参加しました。参加者の皆さんは12月のタコづくり講習会で下野宮胤の会の方々から教えていただきタコを作り、各自が絵付けをしての参加です。富屋小学校の鈴木校長先生のタコを始め、どのタコもカラフルで個性豊かなものばかりでした。風の強さや向きが目まぐるしく変わる中、皆さん風をとらえ高く揚げようと、工夫しながら揚げていました。



なお、このタコあげ大会の主催の一つである富屋地区青少年育成会は長年にわたり、マスつかみ取り大会、タコあげ大会などの活動を通して、子どもたちの健全育成に努めてきたことが認められ、11月12日(月)栃木県公館において、栃木県青少年育成県民会議会長である福田富一栃木県知事から表彰状をいただきました。おめでとうございます。

## 高齢者ケアセンター見学会を開催

2月2日(土)に、保健福祉部会主催の「聞いて納得！見て安心！高齢者ケアセンター！」と題する、とちの木荘などの見学会が実施されました。地域の皆さんの関心も高く、定員を超える26名の方が参加しました。

身近にありながら、よく知らなかった特別養護老人ホームとちの木荘やグループホーム、ケアハウスについて、施設の方から丁寧な説明をいただいたり、見学をさせていただいたりして、施設の理解が深まりました。



また、施設の方のお話しから、いつでも相談、対応していただけることも分かりました。介護等のことで不安になった時、ぜひ相談先の一つとして利用していただけると良いと思います。

皆さんは、とちの木荘の1階に「六本杉珈琲」というカフェがあり、地域交流室があるのをご存知ですか？ぜひ、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

(保健福祉部会長 相羽 仁司)

## ふるさと再発見 ⑦

## 佐藤吉房



佐藤吉房は、昭和期の本県を代表する刀鍛冶です。本名は留吉と言い、初め吉久と称し、後に吉房と改めました。明治40年(1907)、中徳次郎の鍛冶職の家に生まれ、旧河内町から市内大曾町に移り住みました。昭和16年(1941)34歳の時に、栗原彦三郎創設の日本刀学院に入門、修了し、同学院の師範称号を受けました。その後、後に人間国宝となった宮入昭平の指導を受けました。太平洋戦争中の昭和17年(1942)、軍の鍛錬刀工となって刀の製作に励み、約200振りを納めました。昭和27年には、栗原彦三郎提案の講和記念刀に、吉房と改名して出品しました。以来作刀に従事し、日本美術刀剣保存協会の新作刀展示会に入選するなど、66歳まで腕を振るいました。最晩年作は66歳の時でしたが、残念ながら病で倒れたため未完成となりました。しかし縁あって岩手県盛岡市の刀匠山口清房氏(岩手県無形文化財)が、未完の刀を引き受けて鍛錬し、長さ71cmの太刀に完成させ、宇都宮市へ寄贈しました。昭和49年、67歳で没しました。(文化財調査員 池田 貞夫)

## 山王団地自治会下校ボランティアに 県知事より感謝状

山王団地自治会下校ボランティア（代表：池田喬光さん）が11月20日(木)に、とちぎ男女共同参画センター（パルティ）で行われた栃木県交通・生活安全安心県民大会において、県知事より感謝状を贈呈されました。

この度の表彰は、下校ボランティアの方々が、団地入口交差点で児童の下校時刻に合わせ毎日、立哨指導を行い児童の安全確保に努めていることが認められての表彰です。おめでとうございます。ボランティアを始めて15



年になる池田さんは、「児童がこれまで事故なく下校できていることや児童のあいさつが続けていく励みになっています。児童の皆さんは、これからも交通ルールを守り、正しく横断歩道を渡ってください。」と話されました。

## 晃陽中学校区成人式

1月13日(日)、晃陽中学校区の成人式が、ホテル丸治にて開催されました。



成人式には、晃陽中学校・富屋特別支援学校卒業生、ランスタッド勤務者の計92名が参加、成人者は「生まれ育ったふるさとに感謝し、成人としての自覚を持ち、責任ある行動をとること」などを誓っていました。

式典の後には、地域内31企業等からの協賛金による交流事業が行われ、記念撮影、恩師への花束贈呈や、ビンゴゲーム等を行い、参加者の交流を深めていました。

成人おめでとう！困難に負けず、日々努力し、未来の地域を担ってください。地域で応援しています。

## ソフトバレーボール大会

1月21日から、第3回富屋地区総合ソフトバレーボール大会が開催されました。全16チームが4日間にわたり熱戦を繰り広げ、下町チームが見事連覇を達成しました。結果は、以下のとおりです。

優勝	下町
準優勝	富屋地区体育協会
第3位	富屋特別支援学校教職員
第4位	東部



## と・くじらカフェ

ふるさとまつり・そばまつりで、活動している「と・くじらcafé」をご存知ですか？平成27年、富屋生涯学習センター主催のとみや女性学講座の卒業生を中心に発足し「楽しめる居場所づくり」を目指した会です。カフェの開催を準備するなかで、手芸・寄せ植え・絵手紙などを楽しんでおり、5月には会員のご自宅のお庭で、満開のバラの花と美味しいコーヒーとおしゃべりを楽しみます。今年は是非、地域の皆様にも訪れて頂きたいと企画を進めています。詳しくは後日お知らせいたしますので、楽しみにお待ちください。



### 富屋地区のデータ

(平成31年1月末現在)  
世帯数 1,753世帯  
総人口 3,862人  
男性 1,762人  
女性 2,100人

### 今後の主な事業計画

4月13日(土) 連合自治会総会  
" まちづくり連絡協議会総会  
" 防災会総会  
" 社会福祉協議会総会  
" 青少年育成会総会  
" 体育協会総会

### 編集・発行

富屋地区まちづくり連絡協議会  
〒321-2116  
宇都宮市徳次郎町80番地2  
(富屋地区市民センター内)  
☎028-665-0002, 1663